

第493回番組審議会報告

開催日 : 令和3年1月27日(水)
場所 : 山形グランドホテル
出席委員 : 鬼武一夫 委員長/阿部浩悦 委員/相馬佳苗 委員/中川愛美 委員
堀内史子 委員/鈴木雅史 委員/水山和敬 委員/三浦真守 委員
議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

1. 番組・視聴率・制作関連 黒須 編成制作局長兼編成部長兼番組審議会事務局長
2. 報道関連 安部役員待遇報道局長
3. 番組合評

◇「山形ふるさとCM大賞 決定 35市町村ベストCM」

合評基準日 令和2年12月9日(水) 18:45~20:00 放送

担当: 編成制作局制作部副部長 高橋尚毅

◎その他

内容:

山形テレビの第493回番組審議会が開かれ、先月9日にゴールデンタイムで放送したYTSスペシャル「山形ふるさとCM大賞 決定 35市町村ベストCM」を合評しました。

毎年恒例の“山形ふるさとCM大賞 特別編”として、700本を超える過去の参加作品から、ふるさとを元気にする35市町村それぞれのベストCMを決定。さらにCMの中で気になった市町村をMCの石田靖が訪ね、絶景とグルメを満喫。また県内の小学校が授業の一環でふるさとCMを制作し、その様子にも密着しました。

出席した委員からは、

「テレビ番組だけで終わらせるのは勿体ない。ネット配信するなど、県外にもっとアピールするべき」

「やまがた百景などに出演している石田靖さんがMCをすることで、県内の魅力がさらに引き出されたと思う。アナウンサーとの息の合った掛け合いも良かった」

「審査方法や基準についての説明が欲しい。どのように評価しているのかよく分からなかった」

「小学校でのCM制作はとても意義のある取り組み。地元の魅力を知り、CMを作ることの大変さや難しさを実際に経験できるのはよい機会だと思う」

「ロケの時間などに制限があったのかもしれないが、訪ねた市町村の紹介にバラつきを感じた」

「イベントが中止になりなかなか足を運ぶことができないご時世だからこそ、スタジオではなくホールで収録することで、通常開催の雰囲気味わうことができた」

「地元のよさを、地元のひとがアピールしているため、作品一つひとつへの思いを強く感じた」

「テレビCMの価値や意義が変わっているなかで、運用や在り方を改めて見直すよい機会だった」

などの意見が出されました。

以上